

創立50周年記念式典 式辞

本日ここに 埼玉県教育局県立学校部部長 渡邊 亮 様、埼玉県看護協会会長 松田 久美子様 埼玉県高等学校長協会 南部地区会長 安食 邦明 様 をはじめ、多くの御来賓の御臨席を賜り、埼玉県立常盤高等学校 創立五十周年記念式典を挙行できますことは、生徒、保護者、職員など、本校関係者にとりましてこの上ない喜びでございます。

本校は昭和四十五年、埼玉県立常盤女子高等学校として、埼玉県では唯一の「全日制 衛生看護科」単独の専門高校としての歩みをスタートいたしました。

平成七年には本校の充実発展を期して二年間の専門教育を行う「看護専攻科」が併設され、さらに、平成十四年度からは看護科三年間・看護専攻科二年間を合わせた「五年一貫教育」がスタート、平成十五年度には男女共学校となり、現在の常盤高等学校となりました。（この公立の五年一貫校は、全国にも二十六校しかございません。）

このたび、創立五十周年を迎えることができましたのも、創立以来 御支援いただきました県教育委員会や地域の皆様、医療関係者の皆様、本校のために御尽力いただきました歴代校長はじめ教職員の皆様、物心両面から温かな御支援、御協力を 賜りましたPTA・後援会・同窓会の皆様、そしてこれまでたゆまぬ努力と実績を積み上げてこられたすべての修了生・卒業生・在校生のおかげと心より感謝申し上げます。

また、PTA・後援会・同窓会の皆様方からは、創立五十周年の記念として、校名標識を設置していただきました。校門を出たところがございますのでお帰りの際にはぜひご覧ください。

さて本校は、この半世紀の間、国内はもとより海外でも活躍する看護職者を輩出し、看護のスペシャリストを養成するという役割を着実に果たしてまいりました。近年におきましては「看護師国家試験100%合格」を六年間達成しているところでございます。

昭和・平成・令和と時代は移り変わり、グローバル化や技術革新が急速に進み、ソサエティ5.0という新しい時代が到来するとされておりますが、わたくしどもは「いずれの時代も看護師の仕事は普遍的であり、たとえ高度な機器が開発されたり人工知能が発達したりしても、人による看護にとってかわることはできない」との信念のもと、「看護師としての心豊かさ」も大切にしたい、文部科学省指定 スーパープロフェッショナルハイスクール事業をはじめとしたワンランク上の教育を行ってまいりました。

ひとつ 仲間とともに励ましあい確かな知識と技術を身に付けることを誓います
ひとつ 患者さんに対する思いやりを忘れずに寄り添った看護を提供することを誓います
ひとつ 豊かな人間性をはぐくみ、感謝の心を忘れず 生涯学び続けることを誓います

これは 今年六月に行いました戴帽式での看護科三年生の「戴帽生誓いの言葉」でございます。清楚で、かつ、凜としてナースキャップを頭に戴いた戴帽生が、誓いの言葉を述べる姿はとても感動的でありました。

本校の生徒たちは、中学生で、看護の道に進むことを決め本校に入学してまいりまし

た。五年間の長い道のりの中で、時には大きな壁にぶつかり、悩みながらも看護師を目指すという共通の目標を持った仲間とともに学び続けています。前向きで人の痛みがわかる心の優しい、素敵なナースの卵たちに育てております。

超高齢化社会を迎え、ますます看護職者の役割は重要になり、本校が看護師養成高校として果たす役割もさらに大きなものになっていくと思われま。この五十周年を一つの区切りとして、さらなる未来に羽ばたく「豊かな人間性と確かな知識・技術を兼ね備えた看護のスペシャリスト」を養成すべく、実習病院等の皆様や保護者、地域の方々などの御協力も戴きながら教職員・生徒が一丸となって邁進していく所存でございます。

結びに、関係の皆様方のこれまでの本校への御支援に深く感謝いたしますとともに、今後とも一層の御指導・御鞭撻を賜りますようお願い申し上げ、式辞といたします。

令和元年11月30日

埼玉県立常盤高等学校長 山田 直子